

計画相談支援について

(2014年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	計画相談支援の 8月利用実績	2014年度中の 完全実施の見込み		計画相談支援実施上の問題点
		あり	なし	
合計	10,054	41	13	
1 名古屋市	1577	○		居住地特例により他市町村に居住地がある方の場合に、事業者数が少ないため、計画を作成できる計画相談支援事業者が見つからないケースがある。
2 豊橋市	1591	○		
3 岡崎市	667	○		計画相談支援を実施する相談支援事業所数、相談支援専門員数が不足している。
4 一宮市	2090	○		計画支援専門員の不足及びサービス等利用計画の内容や質の向上
5 瀬戸市	21		○	
6 半田市	608	○		
7 春日井市	186	○		事業所が増えない。
8 豊川市	107		○	
9 津島市	67	○		整備が完全に整っていない中で完全実施を行うことになれば、質が損なわれる恐れがある。
10 碧南市	286	○		
11 刈谷市	69	○		特になし
12 豊田市	158		○	
13 安城市	40	○		特になし
14 西尾市	95	○		専門職員の確保が困難である
15 蒲郡市	122	○		相談専門員の不足(特に障害児支援利用計画が策定できる相談員の不足)
16 犬山市	249	○		
17 常滑市	147	○		
18 江南市	22	○		
19 小牧市	54	○		相談専門員の数が不足しており、各相談員の負担が大きくなってしまっている。
20 稲沢市	105	○		
21 新城市	71		○	
22 東海市	45	○		
23 大府市	41	○		
24 知多市	51	○		居宅サービスのみの利用者の計画相談支援を行う事業所が少ない。
25 知立市	37	○		
26 尾張旭市	35		○	特定相談支援事業所や相談支援専門員の数が不足しており、2014年度中の完全実施は困難な状況である。
27 高浜市	32	○		特になし
28 岩倉市	3	○		計画作成できる事業所、人員の不足
29 豊明市	185		○	計画相談支援の給付のみでは指定特定相談支援事業所の運営が赤字になり運営が厳しい状況がある。このため計画相談に携わる事業所や相談員が確保できない。
30 日進市	7	○		市内に相談支援事業所数が少なく、市外の事業所も受け入れの余裕がない。
31 田原市	88	○		
32 愛西市	255	○		特になし
33 清須市		○		どこの相談支援事業所も相談員が抱えるケースの数が限界になってきており、新規の相談が受けにくい状態である。指定特定相談支援事業所及び相談支援専門員を増やす必要があるが、新規参入する事業所がない。

市町村名	計画相談支援の 8月利用実績	2014年度中の 完全実施の見込み		計画相談支援実施上の問題点
		あり	なし	
34	北名古屋	19	○	
35	弥富	22	○	平成26年度に社会福祉協議会の相談員の増員(2名)を行ったが、平成26年度中の達成は、困難と思われる。
36	みよし	37	○	報酬単価が低い。計画相談だけでは成り立たない。
37	あま	111	○	
38	長久手	198	○	居住地特例対象者や普段サービスを利用しない受給者に対してサービス等利用計画の作成やモニタリングを実施することが困難となっている。
39	東郷	35	○	
40	豊山	6	○	
41	大口	3	○	
42	扶桑	11	○	
43	大治	56	○	相談員の人数が少ない。
44	蟹江	132	○	相談専門員の人数の不足。質の確保
45	飛島	6	○	
46	阿久比	93	○	
47	東浦	21	○	
48	南知多	62	○	
49	美浜	55	○	計画相談事業所数が少ない。
50	武豊	35	○	
51	幸田	25	○	県外の施設入所者について、相談支援事業所の人数の受け入れに余裕がないため、相談支援事業所とサービス利用契約を断られる状況である。
52	設楽	11	○	サービス等利用計画の「量」を追い求めるあまり、「質」への意識が低くなってしまっていると感じる
53	東栄	5	○	
54	豊根	0	○	

※新城市の実績は7月